



今年1年ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

きりん組 生活発表会の様子



どう組 生活発表会の様子



くま組 生活発表会の様子



ひよこ (0歳児)

12月は、行動範囲が広がり積極的に身体を動かす子どもの姿が多く見られます。指先も器用に動かせるようになっていきます。中でも、ポットン落としや、シール貼り、絵の具スタンプも夢中であそんでいます。あそび方も日に日に変化し、日々成長を感じます。また、阪急電車を見に行ったり、住吉神社へ行ったりと園外散歩の経験もしています。

1月は、新しい体操『だるまさんがおどった』『おにのパンツ』を取り入れ、しっかりと全身を動かします。他にも、福笑いや仕掛け風船あそび、フィンガーペインティングなど、こどもたちの「なんだろう?」「やってみたい!」の気持ちを引き出し、わくわくするあそびを計画しています。生活面では、「自分で!」とんでも自分でしたいという気持ちが芽生えるこどもたちです。こどもの気持ちを受容し、成功する喜びを感じられるように支えてゆきます。そのためにも、お子様が着脱しやすい洋服や靴下、靴をご用意して頂ければ幸いです。また、あそびの中で、ファスナーのついた鞆や、マジックテープを着け外しを取り入れこどもたちの興味を引きたようと考えています。

片桐 晶子

りす (1歳児)

今年度も早いもので、残り三ヶ月となりました。12月はサンタクロースやブーツの製作を行い、「サンタさんくるかな?」「ブーツは何入れる?」と保育士との会話を楽しみながら、クリスマスを心待ちにしています。生活面では「自分でする!」と意気込み、積極的に自分から着替えをしてみようとしたり、トイレで排泄してみようと頑張る姿がたくさん見られました。今後さまざまな「やってみよう」とする姿を受け止め、寄り添い、支えてゆきます。

1月は寒さも一段と厳しくなる時期ですが、健康な身体作りのために、天候の良い日は戸外遊びを積極的に取り入れます。室内遊びでは製作活動を主に考えており、ゆったりと過ごしながら生活リズムを整えます。

インフルエンザなどの感染症が流行する季節の為、引き続き室内の温度・湿度管理を行い、子どもたちの日々の体調を把握しながら、連休明け後も楽しく過ごせるように努めてまいります。



尾西 紗緒梨

うさぎ (2歳児)

合同保育が始まって2ヶ月が経ち、新しい生活リズムにも慣れてきた子どもたち。遊びや生活の中で友だちの名前を呼んでみたり、「一緒に遊ぼう」と友だちを誘ってみたりと、今まで以上に他児との関わりを楽しむ姿も見られるようになりました。製作活動では、ハサミを使って折り紙を切ったり、小さな画用紙にのりを塗って貼り付けたりと細かい工程が増えていますが、それぞれ周りの様子を見たり、保育士に手伝ってもらいながら取り組み、完成した際には「せんせい!できた!」と嬉しそうにしています。

一段と寒くなる季節ですが、室内遊びを季節ならではの製作や椅子取りゲーム等で充実させると共に、天候のいい日には戸外遊びを積極的に取り入れ、丈夫な身体づくりが出来るようにと考えています。また、他児と一緒に遊ぶ楽しさを存分に味わえるよう、引き続き集団での遊びを取り入れ、活動の中で他児に興味を持ち、関わりを広げられるよう導きます。



大谷 朱音

くま (3歳児)

くま組になり、初めての生活発表会に参加しました。4月から取り組んできた楽器あそびでは、演奏する楽しさだけでなく、リズムを合わせる楽しさを知りました。この経験が4、5歳でも楽器を楽しむ期待感に繋がってほしいです。劇あそびでは、物語の役になり切ってたくさん遊びました。初めの頃は台詞を言う事に恥ずかしさを感じていた子どもたちですが、何度も遊ぶことで台詞の言い方や表情を工夫するようになり、子どもたちそれぞれが楽しみ方を見つけることができました。今後もこの経験が子どもたちの大きな成長に繋がると、期待が膨らみます。

1月はこの時期ならではの正月遊びを楽しみ、季節感を感じられるよう計画をしています。また、寒さに負けず強い身体づくりを行えるよう、戸外でもいっぱい遊び、健康に過ごします。子どもたちの溢れるエネルギーを存分に発揮できるように、楽しく過ごせる保育計画を進めます。来年もよろしくお願いいたします。

坂本 拓也

ぞう (4歳児)

12月は、冬らしい気候となり寒さを感じるようになりました。戸外遊びが大好きな子どもたちは寒い中でも元気いっぱい身体を動かして過ごしています。発表会に向けての活動を積み重ね、どんどん自信がついたことで、更に楽しみながら堂々と表現する姿が見られるようになりました。そして迎えた発表会当日。たくさんさんの保護者の方々に前に緊張を感じながらも、楽しそうな表情、堂々とした姿が見られ、改めて子どもたちの成長を感じることができました。子どもたちひとりひとりのパワーがひとつになり、ぞう組最後の大きな行事を終えることが出来ました。行事を終えることに遅く成長している子どもたちです。

1月は子どもたちと正月ならではの遊びを存分に楽しむことで、季節感を味わえるよう計画しています。また、年末年始での経験を嬉しそうに保育士に話す子どもたちの姿が目に見えます。園でもできるだけ多くの経験を積み重ねることで、一人ひとりの成長に繋がります。感染症等十分気を付けながら、寒い冬も楽しく過ごしたいですね! 来年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

大杉 静香

きりん (5歳児)

保育園最後の生活発表会、前日まで「楽しみ!」と余裕を見せていた子どもたちでしたが、当日は少し緊張しているようでした。休みの友だちの分をみんなでカバーし、全員が力を合わせて一番良い劇、うた、合奏を見てもらうことが出来ました。この経験は、子どもたちにとって必ず財産になります。最終学年になってようやく、有観客という形で子どもたちの成長に寄り添えたことを、心より嬉しく思います。

今年度は大きな行事が実施できていたこともあり、4月に比べると子ども、同士の関わりや個々の成長が一気に豊かになりました。社会性、協調性等、5歳児ならではの関わりを尊重しつつ、個々の表現力や順応力を伸ばし、より遊びの幅が広がるよう見守ります。園生活も残り3ヶ月です。友だちと過ごせる「今」を大切に、じっくりと遊び込んで、のびのびと楽しめる時間を見守ります。

“ともだちは～ いいもんだ～♪”



山田 実咲